

せたがや 町総連だより

第 24 号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林4-31-9
ポライト第2ビル2F
☎・FAX 5481-3456

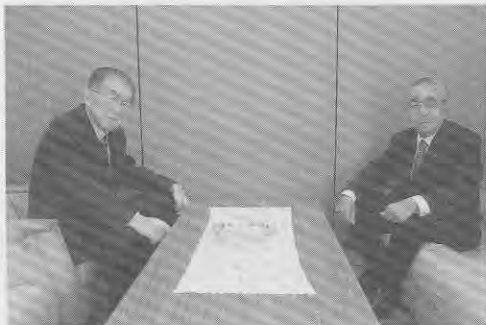
発行人 会長 倉本俊幸
編集情報誌編集委員会
編集委員長 鈴木誠

倉本会長・熊本区長対談

(倉本会長) 明けまして

おめでとうございます。かねてから、町会自治会の加入率アップや活性化に努力しておりますが、なかなか思うようには行きません。

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震など、災害発生直後、なかなか役所の機関が救助に来ることが出来ない時など、地域の住民が協力し力を合わせて消火活動や近所の高齢者を助けるなど、大きな話題となりました。



した。

東京でも近い将来大きな地震が来るのではないかとわれています。

防災の備えもさることながら、地域の支えあいも大切な課題となっております。

最近の風潮では、個人主義というか、プライバシーを重視する傾向があるように、地域の安全を守り明るいまちを目指して頑張っている町会自治会に入ること、**「煩わしい」「関係ない」と考える住民が、多くなってきた**という大変な状況です。

先日、正副会長会の折に、区当局の事務方より町会自治会の活性化について活動の実態調査協力についてのお話がありました。大変な難しいことです。町総連が**「任意団体」**から今まで以上の扱いで**「協力団体」と**のご認識を戴けたことと有難く思います。

私たちももっともって努力

かし、町会自治会の意義などをPRし、加入者の増加につながる努力をしたいと思っております。

(熊本区長) 私は区長就任以来、区民の目線に立った行政を貫くため、従来の流れを変えることをモットーに色々努力してまいりました。

まずは予期せぬ災害や犯罪から、そこに住む区民の生命と財産を守ることが区政の最優先課題だと思っております。

そこで、防犯パトロールや防災訓練、青少年健全育成にいたるまで、実際の取組みに際しては、日頃から区民の皆さんにご協力いただき、誠に有難く感じています。

改めてこの場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

これらの活動の状況や情

目次

倉本会長・熊本区長対談	1
地域情報	
世田谷地域 『街』づくりと『地域』づくり	3
北沢地域 会員相互の協力で安全なまちを築く	4
行政情報	4
地域情報	
玉川地域 第一回世田谷246ハーフマラソン観戦記	5

砧地域 助け支えあう町会運営アレコレ	6
烏山地域 わが町の運動会	7
“町会会長2年生”	7
町総連ニュース	8
町会・自治会長交替のお知らせ	8
編集後記	8

報が、町会自治会相互は勿論、多くの区民の方々に知っていただくことが、町会自治会の良さを大いにアピールすることになり、ひいては活性化につながるものと確信しております。

(倉本会長) 区長は、東京都議会議長時代に、私たち町会総連合会のインタビューに、「隣は何をする人ぞ」では困るとおっしゃられて、日頃から顔の見える地域づくりを進めていくことの重要性を説かれていましたね。

また、各行政機関も町会自治会に対して、もっと指導性を発揮してほしいと思っっているが、町会自治会の位置付けが、任意団体ということなのでなかなか難しい面があるようだと話されておりました。

実際に世田谷の町会自治会の活動をご覧になり、どのようにお考えですか。

(熊本区長) 考え方は変

わっていません。しかし当時より時代も変わり、都市化・少子高齢化・核家族化も進み、プライバシーの考え方も変わってきました。

このような中、災害時要援護者支援の考え方は強くなってきました。

個人情報取り扱い等いろいろ複雑な面もありますが、いざという時、助け合うこととの出来る地域づくりを指して、内容を検討させている所です。

(倉本会長) まさに、お隣同士で、また、町会自治会活動の中でも生かされれば良いですね。



のクリーンキャンペーン・ごみ0デー・青少年活動等大いに参加して、我々と一緒になって地域の担い手になってほしいですね。

(熊本区長) それは良いことですね。

(倉本会長) また、積極的な町会自治会活動を進めるには、町会自治会への加入を進めていくことや何らかの方法による、収入源を見出すことも課題となっております。

平成11年に、単一町会自治会が防災に要する年間費用がどのくらい支出されているか町会総連合会でアンケートを行ったところ、最大で350万円、平均で28万円を要しているとの結論でした。

また、最近一年で、世田谷区や警察署・消防署・社会福祉協議会・清掃リサイクル活動をはじめ、各種地域活動の連絡等々、文書やポスターやチラシによる配

付や回覧が実に多くなってきました。昨年でも一町会あたり150件ほどあるんですね。

(熊本区長) 多いですね。今まで以上に支援を出来るように、努力してまいります。

(倉本会長) 町会総連合会も、この情報誌が発行される頃に、加入促進や活性化についてプレ宣言をし、モデル事業を発表していきたいと考えております。

行政の知恵や色々な支援を期待しております。そして、六月の総会では町会自治会の事業がますます発展活性化し、隣近所全員が自分たちの街に誇りを持つ町会自治会にしていく宣言をしたいと思っております。

ますますのご支援をお願いします。

(熊本区長) しっかりと応援させていただきます。

(熊本区長) 団塊の世代の企業戦士といわれる方も、地域の仲間として溶け込み、得意分野を発揮し、知恵袋やリーダーとして活躍してもらいたいと思っております。

(倉本会長) 私たちも、新しい役員のなり手も少なく、行政ももっと人材発掘に力を貸してほしいと思っております。

各種の審議会の委員や地域支えあい活動・安全サミット・犯罪ゼロの日・募金活動など多くの担い手を必要としています。

世田谷区の職員の皆さんも、交通安全運動や自転車

地域情報

世田谷地域

『街』と『地域』

宮坂一・二丁目町会 会長 鈴木賢治

町会地域と

『地区街づくり計画』

町会地域と 『地区街づくり計画』 当町会は、小田急線の南側、東急世田谷線の西側に位置し、最寄駅を経堂駅・豪徳寺駅・宮の坂駅・山下駅とした地域であり、主に住居地域です。また、地域内には、区立世田谷小学校、私立鷗友学園中・高等学校、世田谷八幡宮、区立宮坂区民センター、区経堂出張所、世田谷消防署宮の坂出張所などの施設もあり、緑も多く恵まれた地域です。

人口は、3756世帯・6987人（18年3月住民登録）で、町会加入数は約1600世帯です。

平成8年に経堂駅周辺街づくり協議会、豪徳寺駅周辺街づくり協議会の対象区域とされ、地区街づくり計画（一部地区計画）が着々と実施されています。また

町内の中心部を補助128号線（南北道・幅員20m）と補助52号線（東西道・幅員20m）の計画道が交差する地域です。補助計画道路の事業（予定）化とともに、近い将来には町が変貌し、環境も大きく変わることが予想されます。

平成16年度より、経堂駅東側地区において、都市計画法に基づく「地区計画制度」を適用した「新たなルールづくり」の検討がはじめられ、小田急線による「行き止まりの解消（南北ルート確保）」、「消防活動困難区域の解消」と、「防災性の向上」、良好な住環境の維持向上などの課題に対し、町会等を通じ意見交換会が行われています。町内住民の意見意向がどのように反映されるか、関係住民の慎重な検討が求められています。

ます。

「豪徳寺駅周辺地区街づくり計画」により、宮坂2丁目に招き猫が鎮座する『宮坂ねむの木公園』が本年3月に完成し、遊具のほか、100屯の防火水槽・災害時用かまど、ベンチやマンホールトイレなどを設置したポケットパークとなりました。地域の貴重な防災施



『犯罪ゼロの日』地域ネット・パトロール

設として活用・維持してゆきたいと思えます。

学校との連携と

『世田小地域ネットいぶき』

世田谷小学校が町会単独運営による避難所になっていることから、学校との連携・協力関係の維持には、特に力を入れています。学校・PTAとの共催による防災訓練の実施や避難所運営訓練へのPTAの運営参加、「子どもまつり」への参加協力などの他に、学校だより『まこと』を町会会員に回覧しています。まことを通して、行事催事の案内や授業の様子など地域に公開していただくことにより、学校への理解と地域との連携に役立つものと期待しています。

地域ネット『いぶき』は、

平成17年9月に発足しました。町会役員、民生児童委員・主任児童委員、青少年地区委員、日赤奉仕団をはじめ、同校PTAの現役・OB、卒業生など地域在住の方々をメンバーに構成されています。地域と学校が連携し、地域の安全、防犯活動や児童・生徒の見守り

活動や学校行事への積極的な参画と会員相互の親睦を目的に活動しています。活動内容については、ホームページにて公表しています。

また、この事業は、区の地域コミュニティ活性化支援事業として助成を受けての活動です。地域の持てる人的・物的資源を掘り起こし、ネットワーク化により、町会事業の充実と地域コミュニティの醸成に努めてまいります。

町会加入の促進が課題

当地域は、比較的に環境に恵まれた良好な住居地域ですが、近年、古くからの世帯の主に代替わりが起きると、土地が細分化され、又は集合住宅に姿を変え、少しずつ環境も変わりつつあります。そんな中、集合住宅の町会加入の促進と町会事業の意義を理解してもらうことが課題です。

また、団塊の世代が定年退職を迎える来年以降、その人達がどれだけ地域に関心を持ち、地域活動に関わり、また町会活動に協力を得られるかは、期待すれども未知数です。

町会の新たな試みとして、町会役員の写真入りIDカードの作成。各種地域行

事や会議等の参加時に着用し、身分の証明と役員の自覚に活用しています。

町会活動（地域コミュニティ）活性化には、行政の積極的な支援をお願いします。

北沢地域

会員相互の協力で安全なまちを築く

北沢二丁目南町会 会長 松本 忠一郎

私たちが組織する北沢二丁目南町会は、下北沢駅南口に面しております。

駅周辺という立地条件から多くの商店が劇場やライブハウスとともに軒を連ねています。そのため、若者たちだけでなく、様々な来街者により、毎日賑わいを見せています。

人が多く集まると、タバコのポイ捨てや落書きによる街の汚れ、それに伴う治安の悪化の心配もあります。

さて、世田谷区では、このような状態を踏まえて平成11年4月に下北沢駅周辺地区を環境美化推進地区の第1号として指定しました。

これを受け、我が町会でも、ポイ捨ての防止の啓発活動をはじめ、近隣の商店街とともに街の美化に向け

た様々な取組みを進めてきました。

また、平成6年10月から地元の町会、商店街などが中心となり、下北沢地区自主防犯連絡協議会を設立しました。

わが町会もそのメンバーの構成組織として、地域住民自身が安全で快適なまちを作るために、定期的な取組みを行っています。

毎月第3金曜日は、午後3時に交番前へ集合して、防犯パトロールを行っています。特に7月と12月は、パトロールの時間帯を午後7時からとして、シモキタクリーン作戦を展開しております。

約150名の参加があり、安全・安心なまちづくり、防犯や青少年の健全育成な

どの啓発活動に取組んでおります。

一方では、町会区域や商店街では以前から、落書きが目立つようになりました。下北沢地区自主防犯連絡協議会の組織の中に落書き対策実行委員会を立ち上げました。

わが町会も実行委員会のメンバーとして落書き防止の活動に取組んでおります。

この活動は、落書きやいたずら書きなどに対して、秩序違反行為を許さない環境を作り犯罪に強い社会を構築するために重要であるという認識から、毎月第3火曜日を実働日に決め、積極的に参加をしております。

防災面では、毎年11月に町会会員が一時集合場所に参集してから広域避難場所

への避難訓練に加え、炊出し訓練、初期消火訓練等の防災訓練を町会独自で実施しております。

対して意識を持ち、その意識をより高めていくことが非常に大切なことです。今後も会員が安全で安心して暮らせる地区であることを願うとともに、それを実現するために、町会活動を積極的に推進していきたいと思っております。

行政情報

三三三三三情報

財団法人世田谷トラストまちづくり

「まちづくり」の知恵袋のような部門があるのをご存知ですか。今年4月1日から「せたがやトラスト協会」と「世田谷都市整備公社」が統合され、表記の名称になりました。

世田谷の環境についての研修会、関係書籍の販売、花づくり助成などと公益信託世田谷まちづくりファンドの制度があります。

支援として三部門、①はじめの一步②まちづくり活動③ネット文庫制作があり、14年目を迎えています。また新たにハード整備助成の

「まちを元気にする拠点づくり」が加わりました。応募書類は事務局を経て運営委員会による公開審査があり助成団体が決まります。

助成金額と助言者の紹介が受けられます。まちの活性化・環境問題などに取り組む活動グループで、助成金と助言が必要なきは、このファン্ডに応募してはいかがでしょうか。

問合せ先 世田谷トラストまちづくり 電話 640713300

玉川地域

第一回世田谷246ハーフマラソン大会

観戦記

九品仏自治会 会長 岡 秀俊

東京23区初の本格的ロードレース第一回世田谷246ハーフマラソンが11月19日に開催された。

コースは駒沢オリンピック公園園陸上競技場から二子玉川緑地運動場までの21・0975キロメートル。熊本世田谷区長のピストルの号砲とともに、午前9時、小雨、気温11度のなか、



選手たちはマーチングバンドの演奏に送られながら、競技場をスタートした。

参加したのは、毎年恒例の箱根駅伝で活躍している区内の歴代出場校からの招待選手など70名と、一般ランナー660名の計730名で、10キロメートル以下の健康マラソンの参加者855名と合わせ約1600名が晩秋の世田谷を駆け抜けた。

今回のハーフマラソンは、都会的なイメージで全国的に有名な国道246号を走れるとあって、区内外から3倍を超える応募があり、抽選で決定したものだ。

246ハーフマラソンは、区民向けに毎年実施してきた世田谷健康マラソンが今年で30周年を迎えたことから、「スポーツの街世田谷をアピールしよう」と健康マラ

ソンと同じ日に本格的な競技会を開くことになった。

優勝したのは1時間3分44秒のタイムで、日本大4年の保科光作選手で、「調子はよい方ではなかったが、沿道の大きな声援に励まされて気持ちよく走れた。優勝は箱根駅伝への弾みとなった」と話した。

女子の部は、1位から3位まで東京農大が独占して入賞したが、優勝したのは、1時間18分34秒のタイムの川嶋雅子選手で、「246を走ることは夢だった。同じチームの人たちと一緒にゴールでき、楽しく快適な走りでのよい思い出となった」と語った。

特別賞として、完走者の中で最高齢のランナーと、60歳以上の部の優勝者男女に『生涯現役賞』が贈られた。女子の部で最高齢完走



と、60歳以上1位の2冠を水田真知子選手が獲得した。なお、玉川消防署から消防士の岩本晃選手が、『火の用心』というタスキをかけたランナーとして参加し、沿道の観客から注目を浴び、防災意識を高めた。

コース途中の桜新町では、アニメ『サザエさん』ファミリーの等身大のパネルが沿道に掲げられ、選手を迎えた。

二子玉川駅から河川敷のコースに入り、参加5大学の応援団やチャリダーによる応援合戦の中を、ウルトラマンの出迎えを受けながら選手はゴールインした。到着点では、地元の二子

玉川商店街や、川場村など近隣の模擬店が開設され、ウルトラマンヒーローイベントなどとともに、大勢の子どもたちや家族連れで賑わっていた。

同時開催された健康マラソンでは、ゲストランナーとして高岡寿成さん（カネボウ、マラソン日本最高記録保持者で日本屈指のランナー）が参加され、楽しくスピード感溢れる走りを披露された。

なお、世田谷区町会総連合会は倉本会長が大会実行副委員長として、健康マラソンのスタート時の合図を行い、開会式や表彰式にも列席した。

マラソンシーズンの先駆けとなる駒沢オリンピック記念公園陸上競技場を会場とした第一回世田谷246ハーフマラソンがオリンピック東京招致へ向けての機運を盛り上げるための第一弾のイベントとなったものと思われる。

運営にあたっては、走路監視や万全の安全安心サポート体制を敷いた関係団体の努力は大変であったと思います。

砧 地域

助け支えあつ町会運営アレコレ

船橋会 会長 鈴木幸次

私たちの町会（船橋会）は、船橋1丁目から4丁目、7丁目の一部を含む広い地域をテリトリーとして助けあい、支えあいを基本に明るいまちづくりのために活動しています。

船橋会は、昭和22年、船橋防犯協会として発足し、防犯防火が主体でしたが、昭和31年に船橋会と名称を変更しました。

縦割り行政による情報不足を解消するため、平成16年に船橋会女性部を発足させ、日赤奉仕団、民生児童委員、青少年地区委員、社会福祉協議会推進委員等各関係団体の方々にも加入を呼びかけて、賛同を得た結果、円滑な情報交換が行われるようになり協力体制が強化されました。

その実例として
一、皆様の要望により町のおまつり「船橋あおばまつり」を平成16年に立上げました。この「おまつ

り」は子どもから高齢者まで楽しめる手作りの「おまつり」です。会場は町会区域のほぼ中央に当る船橋地区会館と隣接の池田公園です。

これには船橋会女性部、老人会、ホーイスカウト、地域小学校のお母さん方、学校おやじの会等がお茶席や模擬店を開き、地元農家の方からの新鮮な野菜、商店会は抽選会の景品を提供して協賛いただきました。

今年1000名以上の参加があり大盛況でした。今後は毎年6月第一日曜日に実施することにしています。

二、いつ起こるか分からない災害に対しては、8月に、「学校に泊まろう地域防災訓練」を実施しています。私たちの町会区域には船橋小学校と船橋中学校が学校避難所に指定されていますが、学区

域の関係から他の町会から通う生徒が多く学校協議会での話し合いは進みませんでした。

これを打開するために学校長、副校長、PTA代表、おやじの会代表と学校協議会とは別に話し合いを行い意見交換から生まれたのが学校（生徒、保護者を含む）と地域町会が共同して学校避難所実行委員会を立ち上げて「学校に泊まろう地域防災訓練」が実現できました。

今年の訓練は8月26日、27日に実施し延べ600名余の参加がありました。実行委員会は毎月1回、6ヶ月にわたり会合をもち地域防災係や消防署のアドバイスを受け本番に備えました。

当日は午前11時50分に学校校舎の開錠により「避難所開設訓練」が始まり、各関係団体のメンバーで構成された担当者

が学校避難所運営マニュアルに沿って訓練を進めました。

一般避難訓練参加者の受付が始まり、先ず「煙中訓練」を体験し、その後、避難所になる体育館に入場し、午後一時より開会式を行いました。

防災訓練の内容は、

- (一) 初期消火訓練（消火器）
 - (二) 応急救護訓練（包帯法・心肺蘇生・AED）
- の4つの訓練を班分けし、体育館、多目的ホール、ランチルームで訓練密度を考えて、子どもと大人を分けて行いました。

女性たちで「炊き出し訓練」を行い、保存していた玄米を精米し、大釜8基を使い60人分のご飯



を炊き、おやじの会が料理したカレーを夕食としました。

当日、最後は子どもたちが楽しみにしていたアトラクションです。キャンプファイヤーを囲んで、フォークダンスや花火でこのイベントは最高に盛り上がり、子どもたちは校庭に設営したテントで、大人は校内の多目的ホールで宿泊体験をしました。これらの行事や活動には各関係団体の参加はもとより、年々若い方の協力があり嬉しく思っています。

これからは地域会員、関係団体の協力連携を一層深め明るく住みよいまちづくりを目指して町会運営をしていきたいと考えております。



烏山地域

わが町の運動会

給田町会 会長 田中光男

給田の地名は、中世の頃
莊園の管理を命ぜられた人
がその手当として受け取る
田畑、すなわち給田地を意
味する言葉が村の名前に転
化したものといわれており
ます。

昭和20年頃までは、都市
近郊農村地帯として農業が
盛んに行われておりました
が、戦後急激な宅地化が進
み、現在では農地はほとん
ど見られません。

戦前からの町会隣組は解
散し、町の防犯協会と給田
青穂会（青年会昭和20年秋
発足）の2団体ができまし

た。世相混乱が落ち着いて
参りますと給田独自の行事
を考えるようになり、給田
で唯一の学校であった私立
岩佐高等女学校の校庭を借
りて、子どもも大人も共に
楽しめる運動会を計画しま
した。

昭和26年頃の第1回目に
は競技の他に昼休み警視庁
音楽隊を招いての演奏及び
校庭での行進が行われま
した。

その後、新しい町会が発
足し運動会の主体は町会に
移り、現在までには紆余曲
折はありましたが今年で56

に交替で使用するようにな
りました。

給田西住宅の有志の方も
運動会に役員としてご協力
いただいております。

平成3年頃、国士館大学
柔道部の寮ができますと互
いに地元との交流を図るた
め運動会に参加するようにな
り、毎回60名程の学生さ
んが参加して、競技に出場
する人、また競技の世話役
として役員と一緒に和気あ

いあいに活動しております。
学生のOBの中には、オリ
ンピック金メダリストの齋
藤仁体育学部教授及びアテ
ネオリンピックの内柴正人
選手、鈴木桂二選手なども
参加しておりました。

練習のない、ぶっつけ本
番は、参加者数が確認でき
ないまま30種目の競技に賞
品を組み合わせることは、
準備段階での悩みですが、
出場者の最後まで一生懸命
頑張って走る姿を思うと自
然とはげみになります。子
どもたちは走って賞品がも
らえることを楽しみにして
いるようです。
今まで続けてきてよかつ



たことと、これからも続け
ることに自信と誇りをもつ
て、町会活動の安全安心の
まちづくりにつなげていき
たいと思っています。

“町会会長2年生”

親和会 会長 千葉 範子

親和会は、前会長病気の
ため、会長不在が2年以上
も続いております。

町会運営は、数人の役員
で行われていましたが、地
域の中での活動機能は停止
状態でした。

私自身、10年以上も町会
の仕事から遠のいていたの
で、悩みに悩んでやっと受

けることにしたのです。が、
その仕事の多さと、任の重
さに後悔の日々です。

若葉マークの私が、会長
会でとんでもない質問をし
たり、理解できないと食い
下がる態度にも、いやな顔
をせず答えて下さる皆さん
に感謝しています。
会長となつて1年6ヶ月、

まだまだ町会として、円滑
なそして充実した活動をし
ているとは言えませんが、
これから最も大切な、安全
で安心して生活できる地域
づくりのために力を注いで
いきたいと思っております。
どうぞ宜しくお願いいた
します。



回目となり
ました。
区立給田
小学校の誕
生と区立烏
山小学校の
移転により
2つの小学
校ができま
した。会場
は、一年毎

町総連二ニュース

報告

常任理事会

▼11月2日
町会・自治会の活性化
についての研修を行った。

役員研修会

▼12月5日
町会・自治会の活性化
についての研修を行った。

情報誌編集委員会

▼10月3日
町総連だより第24号編
集方針について

▼11月6日
町総連だより第24号原
稿確認について

▼12月8日
町総連だより第24号原
稿確認について

東京都町会連合会(常任理事会)

▼6月7日
常任理事会
1. 政治家の寄与禁止強
化月間への協力依頼
について

2. 地域力向上方策の検
討について

3. 認知症高齢者を地域
で支える東京会議に
ついて

ついて

▼7月5日
1. 容器包装リサイクル
法改正の要旨について

2. 東京オリンピック招
致について

▼9月13日
1. 駅前放置自転車ク
リーンキャンペーン
について

2. 花粉の少ない森づく
り運動について

▼10月4日
1. 予算要望について
2. 東京都との連絡会に
ついて

▼11月1日
1. 認知症高齢者に優し
いまちづくりについて

2. 高齢者の消費者被害
防止対策について

3. 花粉症対策について

▼10月2日
4. 交通安全対策について
5. 地域力向上について

東京都知事功労者表彰

名譽都民顕彰式に引き
続き、東京都功労者表彰
式が行われ、中野元之前
梅丘1丁目町会長が地域
活動功労で表彰を受けま

◎町会・自治会長交替のお知らせ

平成19年1月10日現在

自治会名	新会長	前会長
駒沢親和会	柴田悦雄	真井 稔
下代田西町会	榎本 徹	青木 弘
北沢1丁目町会	平井一郎	木村鋭男
北沢2丁目南町会	松本忠一郎	久保清吉
馬事公苑前ハイム管理組合	山下兼弘	中尾太郎
法人格成城自治会	羽田 宏	河上浩一
成城団地自治会	松本俊雄	宮本秋男
宇奈根町会	鈴木光吉	荒井英治
烏山第1団地自治会	小家正善	中原一弘
給田西住宅管理組合	市川立美	玉井良助
給田南住宅自治会	後藤正一郎	江間貞雄

した。

平成19年度総会(予定)

平成19年6月28日(木曜日)

編集後記

町会の運動会を56年続けて
いるという給田町会長の投稿
がありました。

本当に素晴らしいことだと
感動しました。

楽しければみんな集まる、
活動する、そんな気がいたし
ます。

今年も元気で楽しく頑張り
ましよう。

編集委員 佐藤キイ子

お悔やみ申し上げます

池尻西町会会長

佐藤 四郎 殿

平成十八年十二月二十一日没